

新学習指導要領に対応した学習評価 (中学校技術・家庭科技術分野)

文部科学省
初等中等教育局 視学官
教育課程課教科調査官 上野 耕史



1 内容のまとめりごとの評価規準

1-1 学習評価の機能（役割）

1-2 学習評価の基本構造

（参考）学びに向かう力、人間性等と主体的に学習に取り組む態度

1-3 技術分野の内容のまとめりごとの評価規準

2 題材の学習評価

2-1 基本的な考え方

2-2 題材の検討、題材の目標、題材の評価規準の設定

2-3 題材の評価規準の学習活動に即した具体化

1 内容のまとめりごとの評価規準

1-1 学習評価の機能（役割）

- 教師からみて：教育の改善のために役立てる
学習状況の評価結果を児童生徒の学習や教師による指導の改善、学校全体としての教育課程の改善に生かす
※学習評価＝「カリキュラム・マネジメント」の中核的な役割
- 児童生徒からみて：豊かな自己実現に役立てる
評価により児童生徒一人一人の学習の成立を促す
※学習評価＝「主体的・対話的で深い学び」の視点からの授業改善において重要な役割
- 社会に対して：何が重要であるか
学校教育の社会的意義 を示す
何を評価するかを示すことで、学校が何を目指しているかを明確にする
※学習評価＝「カリキュラム・マネジメント」の中核的な役割

1-2 学習評価の基本構造

<学習評価>

学校における教育活動に関し、児童生徒の学習状況を評価するもの

※ 各教科等の評価：学習指導要領に定める目標に準拠した評価として実施

<観点別学習状況の評価>

学校における児童生徒の学習状況を、複数の観点から、それぞれの観点ごとに分析的に捉える評価

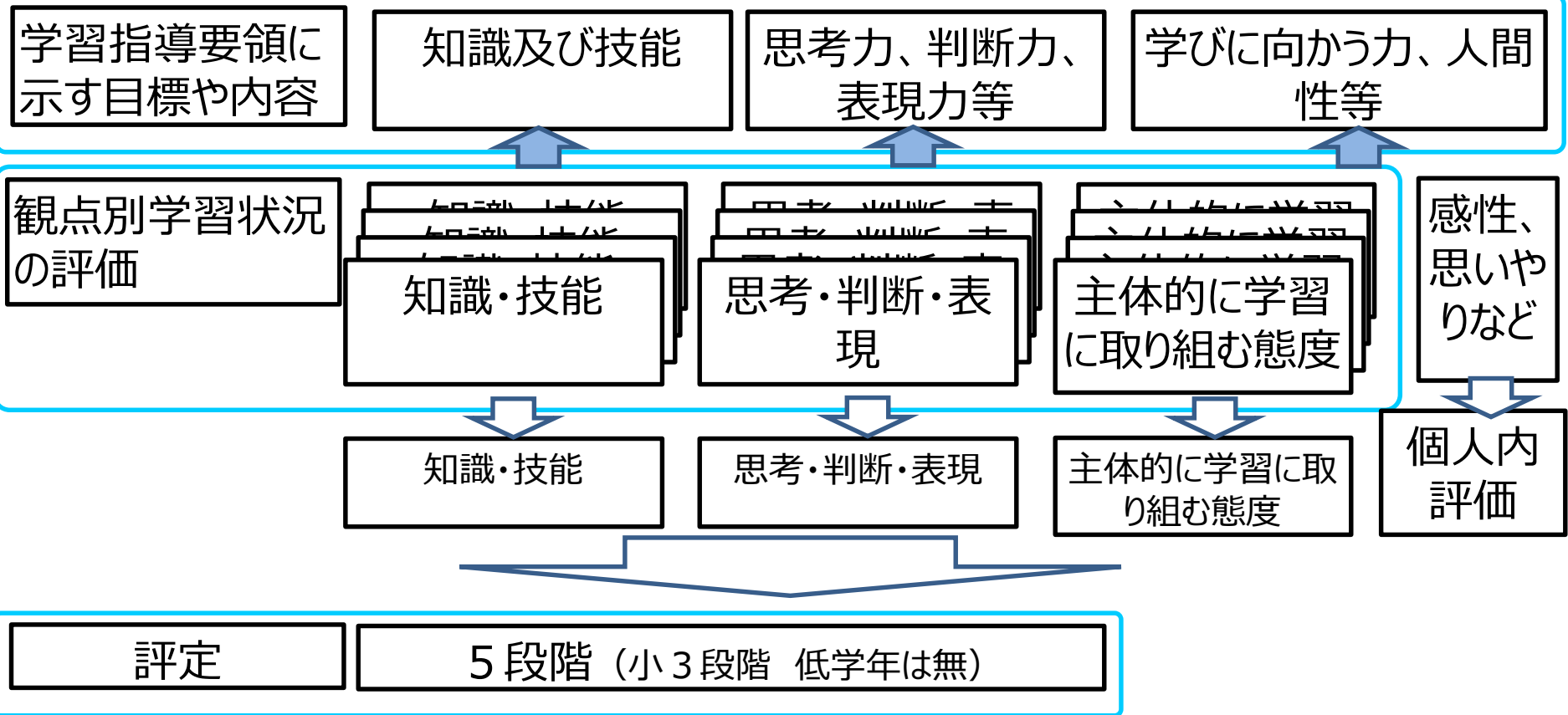
教科等の学習において、どの部分で望ましい学習状況が認められ、どの部分に課題が認められるかを明らかにすることで、具体的な学習や指導の改善に生かすことを可能とする

<評定>

各教科の学習の状況を総括的に捉える評価

生徒がどの教科の学習に望ましい学習状況が認められ、どの教科の学習に課題が認められるのかを明らかにすることで、教育課程全体を見渡してその教科の学習状況を把握し指導や学習の改善に生かすことを可能とする

1-2 学習評価の基本構造



(参考) 学びに向かう力、人間性等と主体的に学習に取り組む態度

<学びに向かう力、人間性等>

学びに向かう力、人間性等は、知識及び技能、思考力、判断力、表現力等をどのような方向性で働かせていくかを決定付ける重要な要素。この涵養を図ることは、生涯にわたり学習する基盤を形成する上でも極めて重要。この中で、観点別学習状況の評価を通じて見取ることができる部分を評価するのが主体的に学習に取り組む態度。

<主体的に学習に取り組む態度>

知識及び技能を獲得したり、思考力、判断力、表現力等を身に付けたりするために、自らの学習状況を把握し、学習の進め方について試行錯誤するなど自らの学習を調整しながら、学ぼうとしているかどうかという意思的な側面を評価。

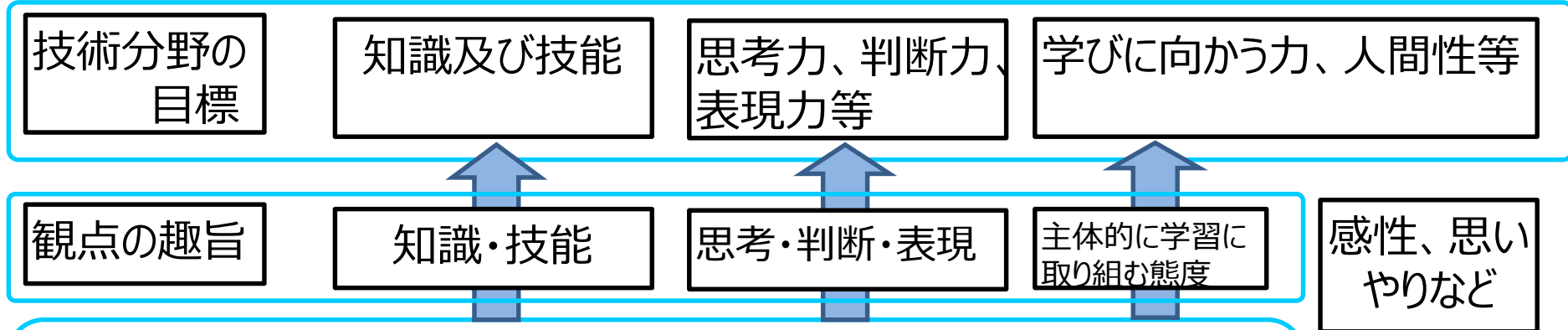
- ① 知識及び技能を獲得したり、思考力、判断力、表現力等を身に付けたりすることに向けた粘り強い取組を行おうとする側面
- ② ①の粘り強い取組を行う中で、自らの学習を調整しようとする側面

1-3 技術分野の内容のまとめりごとの評価規準

<内容のまとめりごとの評価規準>

内容のまとめり (学習指導要領に示す「第2 各学年 (分野) の目標及び内容 2 内容」の項目等をそのまとめりごとに細分化したり整理したりしたもの) ごとに設定した評価規準

= 目標を資質・能力の柱と内容のまとめりで具体化 「学習評価に関する参考資料」pp.125-128参照



観点別学習 状況の評価	A 材料と加工 の技術	(1) 生活や社会を支える材料と加工の技術	
		ア 材料や加工の特性等の原理・法則と基礎的な技…	イ 技術に込められた問題解決の工夫
		(2) 材料と加工の技術による問題の解決	
		ア 製作に必要な図、安	イ 問題の発見と課題の設

2 題材の学習評価

2-1 基本的な考え方

○技術分野の特徴

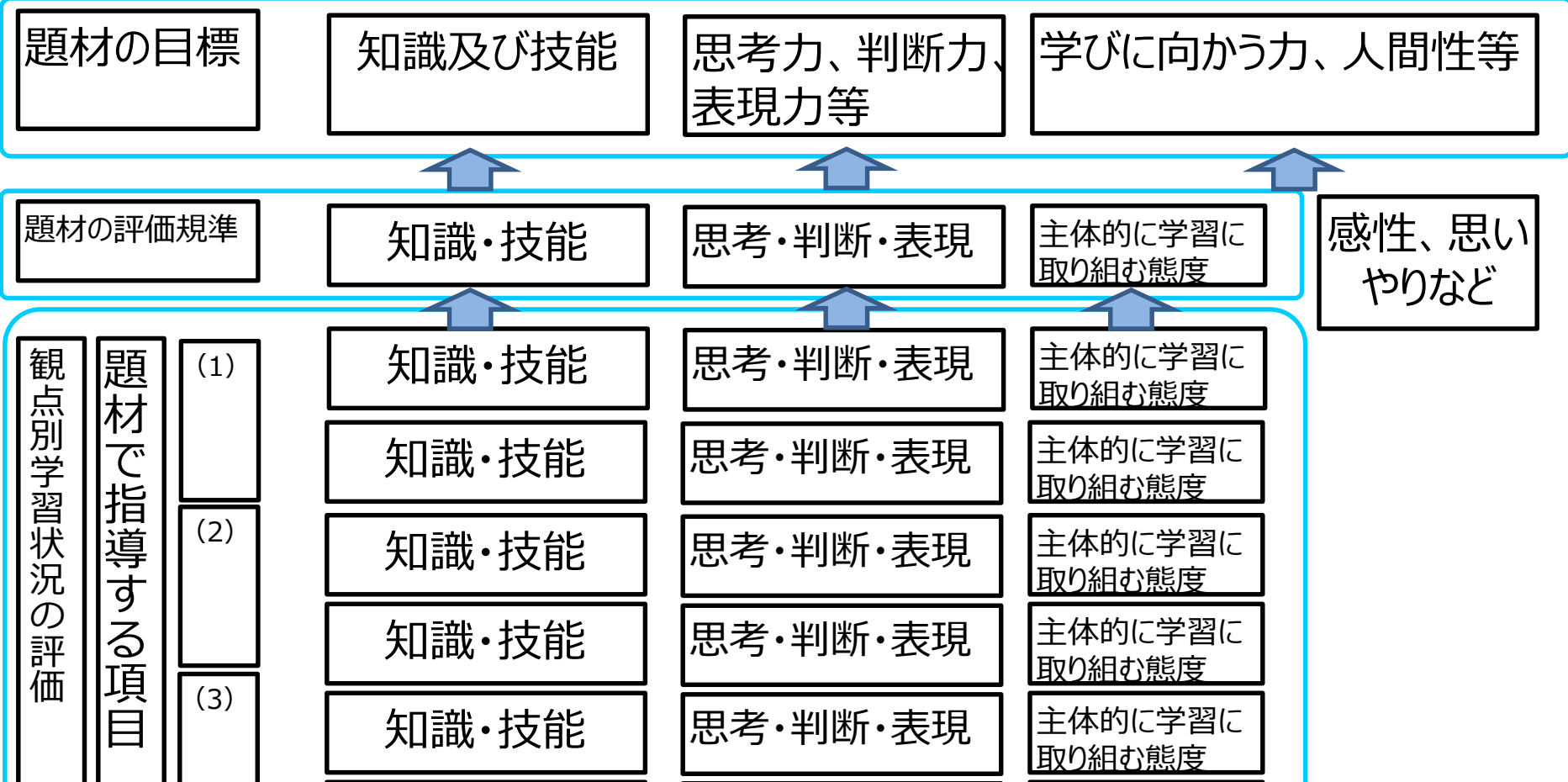
学習指導要領の各項目に示される指導内容を指導単位にまとめて組織して題材を構成し、分野目標の実現を目指す。

各項目に配当する授業時数と各項目の履修学年については、生徒や学校、地域の実態等に応じて、各学校において定める

⇒ 適切な時点で、適切な評価を行うことのできる、学習指導要領に示す目標の実現の状況を判断するよりどころ（「評価規準」）を設定するために

- ①「題材」を検討し、「題材の目標」及び、「題材の評価規準」を作成
- ②学習指導要領解説の記述を参考にするなどして、「題材の評価規準」を「学習活動」に即して具体化

2-1 基本的な考え方



2-2 題材の検討、題材の目標、題材の評価規準の設定

○題材の検討

学習指導要領の規定や、解説に示された配慮事項等及び各内容の特質を踏まえるとともに、生徒の発達段階等に応じて、授業時数及び履修学年を定める。その上で、指導する内容に関する地域や学校の実態、生徒の興味・関心や学習経験を踏まえて題材を設定

※「学習評価に関する参考資料」pp.40-41参照

○題材の目標の設定

AからDの各内容を、それぞれ一つの題材で指導する場合は、解説の各内容の最初に示された各内容のねらいを、授業時数や履修学年に応じたものとすることで設定可能

内容「A 材料と加工の技術」のねらい 解説p.25

材料と加工の技術の見方・考え方を働かせた実践的・体験的な活動を通して、生活や社会で利用されている材料と加工の技術についての基礎的な理解を図り、それらに係る技能を身に付け、材料と加工の技術と生活や社会、環境との関わりについて理解を深めるとともに、生活や社会の中から材料と加工の技術に関わる問題を見いだして課題を設定し解決する力、よりよい生活や持続可能な社会の構築に向けて、適切かつ誠実に材料と加工の技術を工夫し創造しようとする実践的な態度を育成する。

2-2 題材の検討、題材の目標、題材の評価規準の設定

○題材の評価規準の設定

観点の趣旨を基に、関係する「**内容のまとまりごとの評価規準**」の要素を加えるなどする

知識・技能の例

※「学習評価に関する参考資料」pp.41-42参照

評価の観点の趣旨

生活や社会で利用されている技術について理解しているとともに、それらに係る技能を身に付け、技術と生活や社会、環境との関わりについて理解している。



内容のまとまりごとの評価規準（例）

- | | |
|-----|---|
| (1) | ・材料や加工の特性等の原理・法則と、材料の製造・加工方法等の基礎的な技術の仕組みについて理解している。 |
| (2) | ・製作に必要な図をかき、安全・適切な製作や検査・点検等ができる技能を身に付けている。 |
| (3) | ・生活や社会、環境との関わりを踏まえて、材料と加工の技術の概念を理解している。 |



題材「材料と加工の技術によって、安全な生活の実現を目指そう～オーダーメイド耐震補強器具を開発しよう～（第1学年）」の評価規準

生活や社会で利用されている材料と加工の技術についての科学的な原理・法則や基礎的な技術の仕組み及び、材料と加工の技術と安全な生活や社会との関わりについて理解しているとともに、製作に必要な図をかき、安全・適切な製作や検査・点検等ができる技能を身に付けている。

2-3 題材の評価規準の学習活動に即した具体化

○具体化① 「内容のまとめりごとの評価規準（例）」を解説等を参考に細分化

思考・判断・表現の例

※「学習評価に関する参考資料」p.43参照

内容「A材料と加工の技術」（2）内容のまとめりごとの評価規準（例）

・問題を見いだして課題を設定し、材料の選択や成形の方法等を構想して設計を具体化するとともに、製作の過程や結果の評価、改善及び修正について考えている。



内容のまとめりごとの評価規準（例）を細分化した例 【参考：学習指導要領解説】

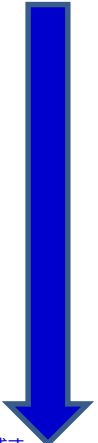
- ・生活や社会の中から材料の製造や成形などに関わる問題を見いだして課題を設定する力を身に付けている
- ・課題の解決策を、条件を踏まえて構想し、製作図等に表す力を身に付けている
- ・試作等を通じて解決策を具体化する力を身に付けている
- ・設計に基づく合理的な解決作業について考える力を身に付けている
- ・課題の解決結果や解決過程を評価、改善及び修正する力を身に付けている

2-3 題材の評価規準の学習活動に即した具体化

○具体化② 無理なく適切な評価が行える場面を検討

学習活動や評価方法等を踏まえて、細分化したものを具体化、整理・統合

※ 「学習評価に関する参考資料」p.48参照

時間	学習活動	評価規準の例		
		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1	・3年間の学習の見直しをもつ。 ・社会や生活で使用されている耐震補強器具について調べる。		①耐震補強器具に込められた工夫を読み取り、材料と加工の技術の見方・考え方に気付くことができる。 【記録に残す評価の場面】	⑤進んで材料と加工の技術と関わり、主体的に理解し、技能を身に付けようとしている。
2				
3	・木材、金属などの材料の特性に関係する実験・観察を行う。	②木材や金属などの材料の特徴と使用方法を説明できる。 【記録に残す評価の場面】		
4	・製作品の強度や構造、切削、切断等に関係する実験・観察を行う。	③製作品の構造や強度と、主な加工の特徴を説明できる。 【記録に残す評価の場面】		
5	・材料の製造方法や成形方法などの基礎的な技術の仕組みに関連した実験・観察を行う。	④材料の製造方法や成形方法などの基礎的な技術の仕組みを説明できる。 【記録に残す評価の場面】		
6				
7	・生活の中から耐震補強器具が必要な場面を見いだし、課題として設定する。		⑥生活の中から材料と加工の技術と安全に関わる問題を見いだし耐震に関する課題を設定できる。 【記録に残す評価の場面】	

2-3 題材の評価規準の学習活動に即した具体化

○具体化② 無理なく適切な評価が行える場面を検討

学習活動や評価方法等を踏まえて、細分化したものを具体化、整理・統合

※ 「学習評価に関する参考資料」pp.53-55参照

知識・技能の例

評価規準の例

⑭ これまでの学習と、材料と加工の技術が安全な生活や社会の実現に果たす役割や影響を踏まえ、材料と加工の技術の概念を説明できる。

評価方法の例

学習日 (月 日)

社会の発展と材料と加工の技術

■課題 みなさんが取り組んだオーダーメイド耐震補強器具の設計・製作で学んだことを思い出して、生活や社会で利用されている材料の技術や加工の技術について考えてみよう

① みなさんが設計・製作で考えたこと、生活や社会で利用されている材料の技術や加工の技術と、考え方が共通していることは何だろう。

② 生活や社会で利用されている材料の技術や加工の技術が果たす役割や影響は何だろう。

生活や社会に果たす役割	生活や社会に及ぼす影響
-------------	-------------

③ 材料の技術や加工の技術とは、どのような条件を考慮して開発・利用されるだろうか。

①や②を踏まえて、あなたの考えをまとめよう。

1年 組 番 氏名 ()

■「おおむね満足できる」状況（B）と判断した生徒の具体的な記述例

○「私は授業の時、耐震補強器具の材料や形などを考える時に、使う場所に合っているか、しっかり固定できるか、自分で作れるか、とか、そういうことを考えて、最も良さそうなもの設計しました。だから市販の製品や建物は、もっと多くのことを考えて設計するものだと思います。」

新学習指導要領に対応した学習評価 (中学校技術・家庭科技術分野)

文部科学省
初等中等教育局 視学官
教育課程課教科調査官 上野 耕史
ご静聴、ありがとうございました。

